

藤間秋男の 100年企業創りレポート

●今月の経営テーマ “働く目的を考えよう！”

働く目的が明確になることで次のようなメリットがあります。

- ①仕事が楽しくなります
- ②やりがいが高まります
- ③より良い結果をつくることができます
- ④お客様から必要とされる人材になります
- ⑤愛社精神が強くなります

株式会社コスモ教育出版「理念と経営」カレンダーより



(1) TOMAグループで初めて運動会をやりました！
11月4日(金)に仕事を休んで運動会をやりました。
目的は、全体的な連帯感の共有である。又日々の
ストレスがたまっている社員のストレス解消である。
運動会をやるにあたり、社内に役員会で許可が下りて
きました。私は、社員の「事業創り」の働きが、向々に効果が
あると主張し、頭を下げて役員にお願いして
運動会が決定しました。そして、70名の運動会のお手帳を
をいくつ会社を頼んで、70名ずつ千円を借りて
ゲーム内容や千円分け(千支別)や千円カラー(千
円)など、各千円主導で決めました。
当日は、大会運動会お手帳、会社が「社内の」
我々の運動会競技を熱中する中、11時2分、
玉入れ、大縄跳び、障害物競走、綱引き、弁論大会
4択クイズ、テカピン大玉送り、信り人競走、バブル相撲
最終は千円別の対抗リレーで大盛り上がり終了
でした。1313名、70名があたり、皆の笑顔が
絶えるから、たまる。喜劇的、居酒屋の打ち上げと
大変な1日でした。1313名、部門の人々が
同じ千円連帯が高まり、ストレス解消になる、と
思っています。今年、私が頭を下げて運動会をやりましたが、
来年以後は、社員の皆様が「どうやるか」と思っています。
(我々の千円は、前年より100倍、最終で2倍にあり
おしく盛り上がりました。)(運動会支援会を創る(予定))

(2) 素直な心、が成功の要 (松下幸之助)
松下幸之助は、「自然の理法は、いっさいの生成発展の
力を持っている」と考えた。だから素直な心にならば、自然の
理法に従っていけばうまくいく。世の中は、成功するようになっている。
「それか、うまくいかなかったら(自分の感情、地位、名誉、立場他)と
いふことが、素直な心、が成功の要。素直な心こそが、人間を幸せにし、
また人類に繁栄と平和と幸福をもたらすものである」
本物の素直とは、自然の理法に対し、すなわち本来の正しさ
に対し、素直な心、が成功の要。松下幸之助の毎日は
感謝の日々であり、その感謝の思いが足りる、と言った反省の
(おにこどもとすわね、素直な心、が成功の要。おにこどもとすわね。)

(3) トッポココンサルト 臣人龍 (高田誠之) の感動経営コンサル
ト認定講座に参加して、100年企業コンサルライターの
レベルアップをはかります。藤間秋男は、5つのステップがある。
① 感動経営コンサルトの「お志事」は、縁ある方を幸せに
しながら、勝つ集団を創る。
② 勝つ集団の3要素「リーダーの執念」「認知戦略」「勝つ風土」
③ クラスは、経営者だけ1人。「おにこ」は、経営者だけ
経営者、経営者の良し悪しは99%決まる。
④ クラスと同時「おにこ」の「おにこ」の「おにこ」の「おにこ」の「おにこ」
⑤ 経営者、リーダー、自分のTODOリスト、重要なお志事を
⑥ 戦略的、着想し、悲観的、準備し、実行の「おにこ」の「おにこ」
トッポコのお志事は「楽観的のお志事」、他20項目あり。
(おにこは、おにこを「おにこ」で、お客様の業績を上げて、社会貢献する)
(4) 創業者の危機感 (平河右より、中原秀樹)
創業家というものは、寝ても覚めても会社のことを考えている
ものだ。ゆえに経営が順調でも、5年後、10年後の
ことを心配している。みんなが成功体験を味わっている
のではない、将来を見据えた問題提起が見えなくなる。
おにこ心配の種は、尽きない。そんな創業者の心配は、
不安は、今日のこと、明日のこと、返水、下の者はおにこ
(TOMAグループがスタートして35年、13000日寝ても覚めても会社のことを
考えています。)

(5) 恩を全うし、恩を報いる。(致知2016.9 特集)
 人間は一人で大きく存たのびは有り。会社もまた一人で大きく存たのびは有り。あわただしい日々の中にもときどき過去を振り返り、世と人の多くの恵みに感謝する心をお互いに持たせよ。その心こそが明日の歩みの真の方になる。(松下幸三郎)
 恩を忘れると将来に害することをもたす根が朽ちてしまふ。(空海)

(6) 人を育てる。(致知2016.12 特集)
 人生には不幸の原理が2つある。
 ① 人生は投じたものしか返って来ない。人生に何を投じたか。その量と量が人生を決定する。
 ② 人生は何をキックするか。同じ話を聞き同じ体験をしても、そこからキックするものは人によって千差万別である。キックするものの中身が人生を決める。
 教育もまたこの2つの原則が相俟つて成り立つ。あつちの人は2つの教育を持っている。第一は他人から受ける教育。第二はもっと大切なもので自らが自らが育てる教育である。一人の人間としてどう意識を高めようか。歴史家ギボーン

(7) 大好きな武蔵野の小山さんの発言 (先日セミナーで聞か)
 ① 社長の普通と幹部の普通の間を埋めよう。(山本)
 ② 社長は一人の「学んではいけない。社員をまき込み普通レベルに上げる。
 ③ 会社を支えているのは幹部。
 ④ やる事いことを決める。狭く深くやる。ひきこもりをやめる。
 ⑤ いじりもの、1年以上使われないものを捨てる。
 ⑥ 結果が出ていることを又ネサセ2 結果を出させる社員は納得する。
 ⑦ もっと良い社員はいないかは、まずいい! 今いる社員と価値観を共有させることが大切。
 ⑧ 経営計画発表会の持つ意味
 ① 魂を注入する儀式 ② 非日常を演出し社員の意識を高める ③ バケツを合わせる ④ 社員のモチベーションを上げる

② コミュニケーションのとれた組織を強固にする。(イハニ楽しく)
 ③ 金融機関を叩きつける。(株主社長 担当者と同席して話す)
 (8) 理念と経営の勉強会(1700回まで) 9月号で学んだこと。
 ① 今の時代を生きていくには「不易流行」を学ぶ。伝統を継承するが最先端の技術を取り入れている。
 ② 神道は自然とともに生きていくべき。決して遠く存在するもの。
 ③ 100年後にスタートになるものを最先端を取り入れる。
 ④ 日本の工芸を学ぶ。このビジョンがわかる。アゲル。
 ⑤ 中川政七商店の「こころ」1. 正しくあること 2. 誠実であること 3. 誇りを持つこと 4. 品があること 5. 前を向くこと 6. 歩み続けること 7. 自分と信じていること 8. ハスと尻すべること 9. 謙虚であること 10. 楽しくやること (①~③ 山本宗孝 西宮正太 榎田満宮 官司)
 ⑥ Will, Can, Must がビジョンが生まれた。
 ⑦ 建築創造は幸福創造也。(④~⑥ 中川中川政七商店社長)
 ⑧ 本物の良い会社づくりが自分の天命である。
 ⑨ 建物以外の相談をする関係を目指す。
 ⑩ 「正しきより明かす」で業績を上げる。(⑦~⑩ 阿部本一 創理社)
 ⑪ イチロー。「努力の天才」に学ぶ仕事の流儀
 ⑫ 小さなことを重ねることがとんでもないところに行くための道。
 ⑬ 僕は変わることは、またく怖くない。むしろ、とてついに停滞している。この方が怖い。(イチロー)
 ⑭ 本気であれば大抵のことはできる。本気でなければ何でも面白い。本気でいっていると誰かが助けてくれる。人間は幸福を求めた。本気で働いている人間はみんな幸福がみんな偉い。後藤静香 (⑫~⑬ 阿部本一 創理社)
 ⑮ 本気でやるから苦しみは少ない。楽しむことができる。



今月の
言葉集
 イチロー名言集〜「努力の天才」に学ぶ仕事の流儀 (『理念と経営』2016年9月号より)
 ・小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くための道。
 ・毎日、全力を振り絞っているし、余力なんてまったくない。それがあつたら問題。
 ・僕は変わることがまったく、怖くない。このフォームでシーズン262本のヒットを打つても、次の年にはまるっきり形を変えたこともあるし、むしろそこに停滞していることのほうが怖い。
 ・打撃に関して、これという最後の形はない。これでよし、という形は絶対はない。でも、今の自分の形が最高だ、という形を常につけている。
 ・こういうときに誇れるのは(4000安打の)いい結果ではない。僕の数字で言えば8000回は(凡打の)くやしい思いをしてきたし、それと常に自分なりに向き合ってきた事実がある。誇れるとすればそこじゃないかなと思う。
 ・僕は子どもの頃から人に笑われてきたことを常に達成してきているという自負はある。(中略)常に人に笑われてきた歴史、悔しい歴史が僕の中にある。これからもそれをクリアしていきたいという思いはもちろんです。